

科目名	小児臨床看護Ⅰ Clinical Nursing I		基礎知識	講師名	瀧本 浩幸
学年	2年	講義時期	前期	単位・時間数	1単位 (30)

講義のねらい	1. 小児期の健康障害とその経過の特徴を理解し、小児期の代表的な疾患とその病態生理を学び、看護過程の展開の基礎とする。 2. 小児に多い主な疾病の治療・検査について学ぶ。				
学習目標	1. 小児の正常な成長発達を理解できる。 2. 小児の健康支援、予防医学を理解できる。 3. 小児期特有の疾患とその治療、検査、看護を理解できる。				
講義内容	1. 小児科総論 小児の成長 2. 新生児疾患 3. 循環器疾患 川崎病 4. 栄養障害、消化器疾患、外科疾患 5. 感染症（感染症予防、予防接種を含む） 6. 呼吸器疾患 7. 膠原病・リウマチ性疾患、免疫疾患、アレルギー性疾患 8. 血液疾患、悪性新生物 9. 腎・泌尿器疾患 10. 成長障害、内分泌疾患 11. 代謝性障害、先天代謝異常 12. 出生前の小児科、遺伝性疾患、先天奇形 13. 神経・筋疾患、精神疾患				
	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>【担当講師からのメッセージ】</p> <p>“小児は小さな大人”ではありません。まず小児の正常な成長、発達を理解した上で、小児に特有な病気を学んでいきます。広範囲な内容ですが、重要な事項を強調して講義します。コンピュータのプレゼンテーションにより授業しますが、スライドと同じ内容のプリントを予め配布しますので、筆記はメモ程度で間に合います。</p> <p>写真や図表も多数用意しますので、是非スライドに集中して、授業中に内容をよく理解するよう努めてください。</p> <p>毎回、最後の10分程で講義範囲の小テストをしますが、簡単な理解の確認ですので、気軽に受けて下さい。</p> </div>				
評価方法	筆記試験	試験予定	2年次12月		
参考書	専門分野Ⅱ 小児看護学〔2〕小児臨床看護各論（医学書院）				
その他	本科目受講には、小児看護学概論の合格が必要である。				

科目名	小児臨床看護Ⅱ Clinical Nursing Ⅱ		看護	講師名	下山 京子 水島 禮子
学年	2年	講義時期	後期	単位・時間数	1単位 (30)

講義のねらい	小児とその家族にとって病気や入院が与える影響を理解し、さまざまな健康レベルにおける援助、小児特有の技術、小児各期の代表的な健康障害の看護、症状に対する看護について学ぶ。				
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小児看護の対象である子どもと家族の看護について理解できる。 2. 小児期の代表的な疾患と先天性障害の特徴と看護について理解できる。 3. 小児看護特有の援助技術について理解できる。 				
講義内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小児の形態的、生理的、心理的特徴 2. 小児の主要な症状に対する看護 3. 未熟児・低出生体重児の看護 4. 生活制限のある小児と家族の看護 5. 代表的な疾患をもつ小児の看護 6. 先天性障害のある小児の看護 7. 予後不良の小児の看護 8. 小児看護における特有な看護技術 <ol style="list-style-type: none"> ①身体測定 ②バイタルサインの測定 (体温、脈拍、血圧) ③採尿 ④与薬 (輸液管理含む) ⑤酸素療法 (テント、マスク) ⑥吸入療法 ⑦浣腸 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>【担当講師からのメッセージ】 子どもの成長発達や健康障害への支援と同じくらい、子どもに寄り添う家族への支援が小児看護にとって重要と考えます。 またさまざまな社会の変化に伴い、子どもを取り巻く環境も変化しています。それと同時に小児看護の役割も拡大しています。授業では基本的な小児看護のケアだけでなく、子どもとその家族の幸せなど考えられるような看護を学習していきましょう。</p> </div>				
評価方法	筆記試験	試験予定	2年次2月		
参考書	専門分野Ⅱ 小児看護学〔1〕 小児看護学概論・小児臨床看護総論 (医学書院) 専門分野Ⅱ 小児看護学〔2〕 小児臨床看護各論 (医学書院)				
その他	技術では実際に使用しているものなどを活用し理解を深める。 本科目受講には、小児看護学概論の合格が必要である。				

科目名	小児臨床看護Ⅲ Clinical Nursing Ⅲ		事例演習	講師名	本田 里香
学年	2年	講義時期	後期	単位・時間数	1単位 (30)

学習のねらい	小児に多くみられる、代表的事例を用いて演習を行い、小児の成長発達段階および小児看護の特性を踏まえた看護過程について理解する。				
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 患児の成長発達段階を踏まえ、健康障害のある患児の問題を明確にし、援助を考 えることができる。 2. 気管支喘息患児の看護過程の展開を理解できる。 <ul style="list-style-type: none"> ・症状の悪化を踏まえたアセスメントができる。 ・家族と患児への生活指導を理解できる。 				
講義内容	小グループで、紙面上の事例を基に看護過程を展開する。				
事例演習	気管支喘息患児（幼児後期～学童期）の事例 <ol style="list-style-type: none"> 1. 急性期 2. 慢性期・回復期 				
	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>【担当講師からのメッセージ】</p> <p>子どもの健康障害の特徴は、異常を自分から発言できないこと、身体の未熟性から急激に症状が悪化してしまうことです。喘息は乳幼児期に発症し、呼吸困難が出現する子どもにとって大きな苦痛を伴う疾患です。小児期は心身ともに成長する時期であり、成長発達段階に合った看護や子どもを支える家族の支援が重要な視点となります。</p> <p>喘息を発症した子どもの事例をもとに、疾患のメカニズム、子どもの身体の特徴を理解し、発達段階を踏まえたアセスメント、看護計画の立案を行って、小児の看護過程の展開を学習しましょう。</p> </div>				
評価方法	レポート評価と平常点	提出期日	2年次2月		
参考書	専門分野Ⅱ 小児看護学〔2〕 小児臨床看護各論（医学書院） 看護診断ハンドブック（医学書院）看護学生のためのレポート&実習記録の書き方				
その他	本科目受講には、小児看護学概論の合格が必要である。				

《母性看護学》 Obstetric Nursing

母性の概念とその特性を理解し、保健医療福祉における母性看護の基礎となる知識・技術・態度を習得する。生命を生み育てる母性、生命の継続や尊厳について考える機会とする。

科目名	母性看護学概論 Introduction		講師名	飯田 真紀	
学年	1年	講義時期	後期	単位・時間数	1単位 (30)

講義のねらい	妊娠、分娩という役割を担う女性の健康について身体的・精神的・社会的側面から総合的に考え、母性看護の役割を学ぶ。			
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 母性の概念とその特性を理解できる。 2. 生理的現象である妊娠、分娩という役割を担う女性の健康について身体的・精神的・社会的側面から総合的に理解できる。 3. 保健医療福祉における母性看護の役割を理解できる。 4. 妊娠、分娩による女性の生理的変化や健康問題について理解できる。 			
講義内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 母性・父性の概念と特性 2. 母性看護の概念 3. リプロダクティブヘルス／ライツ 4. 母性看護と倫理 5. 人間の性と生殖 6. 女性のライフサイクル各期の特徴と発達課題、健康問題 7. リプロダクティブヘルスを阻害する健康問題（グループワーク） 8. 母子保健の意義と動向 9. 母子保健施策 10. 母性看護に関連する法規 11. 妊娠・出産に関する基礎知識 12. 妊娠による女性の生理的変化と健康問題（グループワーク） <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>【担当講師からのメッセージ】</p> <p>母性看護学は、「性」と「生殖」を支援する看護学です。「性」＝「生」とも言われるほど、人間にとって「性」は大切なことで生命や生きることにつながっています。生命の神秘や素晴らしさ、生命の創造である「生殖」について改めて考える良い機会だと思います。</p> <p>グループワークは2回あります。「リプロダクティブヘルスを阻害する健康問題」とは、性の多様性、性感染症、出生前診断などです。自分の身近な問題として捉え、積極的に話し合しましょう。</p> <p>「妊娠による女性の生理的変化と健康問題」では、みなさんが両親学級を開催します。自分が妊婦やその夫になった気分で参加し、発表者は看護師になりきって発表しましょう。</p> </div>			
評価方法	筆記試験、グループワーク	試験予定	2年次6月	
参考書	新体系看護学全書 母性看護学概論 ウィメンズヘルスと看護（メヂカルフレンド社） 国民衛生の動向			
その他	各母性臨床看護受講には、本科目の合格が必要である。			

科目名	母性臨床看護Ⅰ Clinical NursingⅠ (基礎知識)		講師名	松田 久子 産婦人科医師
学年	2年	講義時期	前期	単位・時間数 1単位 (30)

講義のねらい	妊娠・分娩・産褥と新生児の生理や経過を理解し、妊産褥婦と新生児の看護に必要な基礎的知識を学ぶ。また併せて女性生殖器の障害により出現する症状のメカニズムと検査・治療を理解し、看護を展開するための基礎知識を学ぶ。			
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 性-生殖に関するホルモン、月経周期について理解できる。 2. 正常妊娠の胎児発育と生理、妊娠期から産褥期の母体の生理的变化について理解できる。 3. 新生児の生理について理解できる。 4. ハイリスク妊娠、分娩と産褥、新生児の異常について理解できる。 5. 新生児の生理について理解できる。 			
講義内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 性-生殖に関するホルモン、月経周期について 2. 妊娠、分娩に関する解剖生理 3. 正常妊娠 <ol style="list-style-type: none"> ①妊娠の定義、過程、胎盤形成、染色体と遺伝 ②胎児の発育と生理 ③母体の生理的变化 4. 正常分娩 <ol style="list-style-type: none"> ①分娩の生理 ②分娩の三要素 ③分娩の機序 5. 正常産褥 産褥に起こる体の変化 6. 新生児の生理 7. 妊娠、分娩に関する診察、検査 8. 不妊治療、出生前診断 9. ハイリスク妊娠、異常妊娠 10. 異常分娩 <ol style="list-style-type: none"> ①産道の異常 ②娩出力の異常 ③胎児の異常 ④胎児付属物の異常 ⑤分娩時合併症 11. 異常産 12. 新生児の異常 			
評価方法	筆記試験	試験予定	2年次12月	
参考書	新体系看護学33 母性看護学② 妊婦、産婦、褥婦、新生児の看護 (メヂカルフレンド社)			
	専門分野Ⅱ 成人看護学9 女性生殖器 (医学書院)			
その他	本科目受講には、母性看護学概論の合格が必要である。			

科目名	母性臨床看護Ⅱ Clinical NursingⅡ		(看護)	講師名	田川 智美
学年	2年	講義時期	後期	単位・時間数	1単位(30)

講義のねらい	対象が自身と新しい生命の健康管理が実践できるよう生活指導を中心とした看護について学習し、妊娠、産褥期の看護実践の基礎知識を学ぶ。				
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 妊娠期に必要な妊婦の健康管理と保健指導について理解できる。 2. 正常分娩の分娩期、産褥期の健康管理と保健指導について理解できる。 3. ハイリスク妊娠、異常分娩の褥婦の健康管理と保健指導について理解できる。 				
講義内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 妊娠期の看護 <ol style="list-style-type: none"> ①妊婦の看護 ②妊婦の健康管理（健康診査と保健指導） 2. 分娩期の看護 3. 産褥期の看護 4. ハイリスク及び異常な妊娠、分娩、産褥期の看護 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>【担当講師からのメッセージ】 みなさまが楽しく興味を持てるような授業を目指していきます。母性看護は女性の身体、子どもを産み育てることに関する知識が得られるため、みなさんにとっても役立つ内容だと思います。</p> </div>				
評価方法	筆記試験	試験予定	2年次2月		
参考書	新体系看護学 マタニティサイクルにおける母子の健康と看護（メヂカルフレンド社）				
その他	本科目受講には、母性看護学概論の合格が必要である。				

科目名	母性臨床看護Ⅲ Clinical Nursing Ⅲ		①技術	講師名	①田川 智美
			②事例演習		②飯田 真紀
学年	2年	講義時期	後期	単位・時間数	各々1単位(30)の内の(15)

講義のねらい	①妊産褥婦と新生児の援助に必要な母性看護特有の知識・技術を理解して、母性看護が実践できる基礎技術を学ぶ。 ②正常経陰分娩の褥婦と新生児の事例を用いて、生理的变化の特徴をふまえ、看護過程を展開する力を養う。				
学習目標 〈技術〉	1. 母性看護に特徴的な観察の技術について理解し実践できる。 2. 分娩期の経過、必要な補助的動作や呼吸法を理解できる。 3. 産褥期の経過を理解し、褥婦の健康管理に必要な保健指導を実施できる。 4. 新生児の生理を理解し、バイタルサイン測定や沐浴を実施できる。				
〈事例演習〉	1. 妊娠分娩期の経過をふまえ、現在の産褥期の状態を捉えることができる。 2. 褥婦と早期新生児の生理的变化の特徴をふまえ、ウェルネスの視点でアセスメントできる。 3. 褥婦と早期新生児に必要な援助を、ウェルネスの視点で考えることができる。				
講義内容 〈技術〉	1. 母性看護に特徴的な観察の技術 ①胎児心音の聴取 ②レオポルド触診法 ③腹囲・子宮底測定 2. 分娩期の看護（呼吸法） 3. バイタルサイン測定 4. 沐浴 5. 退院指導 ①子宮復古 ②乳房マッサージ ③授乳 ④産褥後の生活 ⑤産褥体操 ⑥栄養 ⑦乳房のトラブル				
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【担当講師からのメッセージ】 新生児のバイタルサイン測定、沐浴は実習で実際に行います。新生児に触れたことがない学生も多いと思いますので、落ち着いて実施できるよう演習以外の自己練習も頑張りましょう。</p> </div>				
〈事例演習〉	正常経陰分娩の事例を基に看護過程を展開する。 1. 褥婦 2. 早期新生児				
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【担当講師からのメッセージ】 母性看護の特徴であるウェルネスを視点を、正常経陰分娩の母子の事例を展開します。今までの事例演習は問題解決思考型で考えてきたため難しく感じるかもしれませんが、健康な母子がより健康に、健やかに過ごせるよう考えていきましょう。 この事例演習が終了すると、Ⅲ(2)期実習の母性看護学実習が始まります。演習での学びが直接実習につながり、必ず活かします。演習ではグループメンバーと協力して看護展開をしますが、実習では自分一人の力でいきますので各自、復習も行い十分理解しておきましょう。</p> </div>				
評価方法	①筆記試験	試験予定	①2年次2月		
	②レポート評価と平常点	提出期日	②2年次2月		
参考書	新体系看護学 マタニティサイクルにおける母子の健康と看護（メヂカルフレンド社） 看護診断ハンドブック（医学書院）				
その他	本科目受講には、母性看護学概論の合格が必要である。				

《精神看護学》 Psychiatric Nursing

現代社会が抱えるこころの問題に焦点をあて、看護の役割の重要性を認識し、こころの健康の維持増進のための援助、ストレス下にある人々や家族に対する援助について理解する。

科目名	精神看護学概論 Introduction			講師名	市川 里美
学年	1年	講義時期	後期	単位・時間数	1単位 (15)

講義のねらい	人間のこころのはたらき、こころの構造、こころの発達の基本知識を学び、精神障害者の理解、精神看護への活用へとつなげる。				
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 人間のこころのはたらきについてさまざまな視点で理解できる。 こころの発達を発達理論に基づいて理解できる。 精神看護における患者と看護師関係について理解できる。 精神看護で活用する技能について理解できる。 				
講義内容	<ol style="list-style-type: none"> こころのはたらき <ol style="list-style-type: none"> 1) 人格と気質 2) 知能 3) 意識 4) 感情 5) 学習と行動 6) 心の理論 こころの構造 <ol style="list-style-type: none"> 1) フロイトの理論 2) 精神の機能 3) 防衛機制 こころの発達理論 <ol style="list-style-type: none"> 1) 人格の発達 2) 発達理論 精神看護で活用する技能 <ol style="list-style-type: none"> 1) 観察 2) 記録 3) コミュニケーション 精神障害者の理解 <ol style="list-style-type: none"> 1) 患者の理解 2) 患者 - 看護師関係 3) 患者 - 看護師関係の発展過程 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>【担当講師からのメッセージ】 こころについてさまざまな視点から考えていきます。こころの問題がなぜ生じるのか、患者の言動の背景にあるものは何なのか、こころの回復には何が必要なのかを探るための手立てにしていきたいです。</p> </div>				
評価方法	筆記試験	試験予定	2年次6月		
参考書	専門分野Ⅱ 精神看護学1 精神看護の基礎 (医学書院)				
	専門分野Ⅱ 精神看護学2 精神看護の展開 (医学書院)				
その他	各精神臨床看護受講には、本科目の合格が必要である。				

科目名	精神保健 Psychiatric Health			講師名	市川 里美
学年	2年	講義時期	前期	単位・時間数	1単位 (15)
講義のねらい	こころの健康におよぼすさまざまな要因を知り、精神の健康問題を持つ人の理解、こころの健康の回復、維持・増進のための援助について学ぶ。				
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神の健康を、精神と身体との関係などさまざまな視点より理解できる。 2. 環境がこころに与える影響を理解できる。 3. 患者への偏見をなくし、精神保健の考え方を理解できる。 4. 患者の生活の場を理解し、その援助のあり方を理解できる。 5. 患者を取り巻く家族、社会について考えることができる。 				
講義内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神保健の考え方 <ol style="list-style-type: none"> 1) 精神の健康 2) 精神障害の理解 3) ストレスと健康 2. 地域精神保健福祉 <ol style="list-style-type: none"> 1) 保健医療 2) 社会資源の活用 3) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 3. 精神保健活動 <ol style="list-style-type: none"> 1) 家庭における精神保健 2) 学校における精神保健 3) 職場における精神保健 4. 災害時地域精神保健医療活動 <ol style="list-style-type: none"> 1) 方針 2) 災害時の心理的反応 3) 活動 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>【担当講師からのメッセージ】 ストレスが増大する現代社会においては、誰もが精神の健康を害する可能性を持っている。何が精神の健康を害するのか学び、精神の健康を保つことをさまざまな視点から考えたい。</p> </div>				
評価方法	筆記試験	試験予定	2年次5月		
参考書	専門分野Ⅱ 精神看護学1	精神看護の基礎 (医学書院)			
	専門分野Ⅱ 精神看護学2	精神看護の展開 (医学書院)			
その他					

科目名	精神臨床看護Ⅰ Clinical NursingⅠ	障害と治療	講師名	宮子 あずさ
学年	2年	講義時期	前期	単位・時間数
				1単位(30)

講義のねらい	人間を統合的に見ながら精神症状、診断、治療について理解し、精神看護を行う上での基礎的な知識を学ぶ。			
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神医学と他の身体医学の共通点・相違点を理解できる。 2. 精神医学の基礎にある人間の見方を学ぶ。 3. 人間理解を踏まえて、精神症状を理解できる。 4. 精神疾患の診断、症状、成因、治療などを理解できる。 			
講義内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神医療の歴史 2. 精神疾患のとらえ方、精神障害の原因と分類 3. 精神疾患、精神症状 <ol style="list-style-type: none"> ①器質性精神障害 ②精神作用物質使用による精神・行動の障害 ③統合失調症、統合失調症型障害、妄想性障害 ④気分障害 ⑤神経症性障害、ストレス関連障害、身体表現性障害 ⑥生理的障害、身体的要因に関連した行動症候群 ⑦成人の人格、行動の障害 ⑧精神遅滞 ⑨心理的発達の障害 ⑩小児期・青年期の行動、情緒の障害 4. 精神障害の治療法 <ol style="list-style-type: none"> ①精神療法 ②薬物療法 ③リハビリテーション療法 5. リエゾン精神医学 6. 地域における精神看護 <p>*本校の卒業生で、精神分野の訪問看護に携わっている宮子あずささんの講義が9時間あります。宮子さんは下記の本を執筆しています。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>【宮子あずさ先生 主な執筆書籍】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・両親の送り方－死にゆく親とどうつきあうか（さくら舎） ・訪問看護師が見つめた人間が老いて死ぬということ（海竜社） ・看護師という生き方（ちくまプリマー新書） ・看護師専用お悩み外来（医学書院） ・看護師だからできること（講談社文庫） <p>*他にも多数執筆しています。</p> </div>			
評価方法	筆記試験	試験予定	2年次11月	
参考書	専門分野Ⅱ 精神看護学1	精神看護の基礎（医学書院）		
	専門分野Ⅱ 精神看護学2	精神看護の展開（医学書院）		
その他	本科目受講には、精神看護学概論の合格が必要である。			

科目名	精神臨床看護Ⅱ Clinical Nursing II		看護	講師名	塚越 ひろみ
学年	2年	講義時期	後期	単位・時間数	1単位 (30)

講義のねらい	<ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床で多くみられる精神障害患者に対する看護について学ぶ。 2. 精神疾患をもちながら社会復帰を目指す患者の問題と支援について考えることができる。 				
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神科病棟の特徴を理解し、患者の入院生活をイメージ化できる。 2. 薬物療法を受けている患者の看護を理解できる。 3. 臨床上で多くみられる代表的疾患の看護を理解できる。 4. 代表的な事例の看護過程を理解できる。(情報収集、アセスメント、看護診断) 5. 精神科で働く看護職に求められる資質について理解できる。 				
講義内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神医療の歴史 2. 精神科病棟の特徴 3. 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 4. セルフケアへの看護 5. 薬物療法への看護 6. 心理教育 7. 安全管理 8. 家族への看護 9. 精神科チーム医療と看護 10. 精神看護における倫理 11. 主な疾患の看護 <ul style="list-style-type: none"> ①統合失調症 ②気分障害 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>【担当講師からのメッセージ】 精神看護学は、理論だけでなく看護の現場のリアリティを豊富な事例を通して伝えていく必要があります。それだけに皆さんの心にダイレクトに響くものもあるかもしれません。人はさまざまな危機に遭遇し、それを乗り越えながら生きていきます。危機に際して人はさまざまな反応を示しますが、精神障害は1つの反応の仕方であり、精神障害は特殊なものではありません。障害や問題をかかえた人がその人らしく生きてゆくため、その援助の方法と一緒に学んでいきましょう。</p> </div>				
評価方法	筆記試験	試験予定	2年次2月		
参考書	専門分野Ⅱ 精神看護学1 精神看護の基礎 (医学書院)				
	専門分野Ⅱ 精神看護学2 精神看護の展開 (医学書院)				
その他	本科目受講には、精神看護学概論の合格が必要である。				